

# メンバー・ナビゲーターがWS毎に取り組む

## 研究日誌について

目的:参加メンバーそれぞれがスタディに参加したことで生まれているささやかな変化を記録する。あるいは記録しづらいものを自覚する。体験した出来事を自身の学びに還元しやすいような手段として日誌を活用する。

研究日誌をかく場所:

スタディ1のSlack。それぞれのチャンネル。

全部を外に公開するわけではありません。痕跡として残すことで、スタディが進んでいくなかでの振り返りがしやすい状態を作れたらと思っています。

## 研究日誌の取り組みを味わう上で大切にしたいこと:

\*いきなり誰かに伝えようとしなくてもいい

- まずは自身の身体感覚、感情に素直になって書いてみる

\*テキスト、写真、イラスト、詩、手書き、音声入力など表現方法はその時に選択する

\*学びだけではなく、もやもやを記録する

\*書いたときの自分は、あくまでその時、その環境のときの自分である。その後に考え方が変わっていてももちろんよい。

\*書きたくないことは書かなくてもいい

- 無理やり言葉にしてしまうことでこぼれてしまうこともあると思うので、積極的な保留はすばらです
- 一方で「まだ書きたくない」という状態の記録はできるとよきです
- 大切にしたい感覚を完璧に捉えようとせず痕跡を残すつもりで、日誌に取り組んでいただければ

\*自分は差別しない、抑圧していないではなく、無自覚に誰かを差別したり、傷つけているかもしれないことは発言時に意識する

※この日誌が見えるのは、このプロジェクトスタディの参加者のみです

※痕跡として残すことで、スタディが進んでいくなかでの振り返りがしやすい状態を作れたらと思っています

※今後みなさんと相談しながら、記録の一部を外に公開することも検討できればと思っています！

(参考)WS後に書いてもらう内容:10分前後使って記載。時間かけて書きたい場合もちろんok→書いても書かなくてもok

※研究日誌の記載タイミングはWS終了、運堂からのお知らせなどが終わった後。zoomは切ってから書いてもらってok。つないだままの方が書きやすい人はそれでもok。

※言葉じゃなくて、写真やイラスト、詩、手書きの手紙など表現はなんでもok。WSが終わった直後、できればその日の感覚が残っているうちに痕跡を残そうとしてみたいです。その後、時間が経過してから再度自分の方法で振り返ることももちろん大歓迎です。

\*そのときの体調や気分について

\*WSを振り返って、思い浮かぶことをノンストップで5分とりあえず書き出してみる。

→「支離滅裂、どんとこい」「誤字も脱字もスルーする」「途中で止まらず、時間いっぱい手を動かす」。

→ノンストップ・ライティング 記録担当木村がちよっとやってみた例:

あー、どうしょ、あつい、結構暑い。でもクーラーのかげが当たってちょっと寒い。完全に夏バテしているわ。今このプロジェクトスタディの記録の方法をまとめている最終なのだけど、ワクワクしている、うん、ワクワクしてい

る、フジファブリックの「若者のすべて」聞きながら、作業しているのだけど、真夏のピーク去った感がすごい。うーん、今日どんな日だったかな、そうね、どんな日だったかという。昼過ぎまで寝ていて、一つだけ執筆の仕事の期限に遅れていて、罪悪感があり、そのせいかSlackを開くのがちょっと負担で、うっとなる。でも開かないわけにはいかないから開く。Facebookメッセージー先に開いて、その後Slack開いた。いやー、なんで罪悪感感じちゃうと負担になるんだろう。そもそもなんで罪悪感感じちゃったんだろう。申し訳ない？というよりも「約束を守れない自分を認めるのが辛い？」うーん、そうかな、どうだろ、うーん...

\*メンバー・ナビゲーターの発言や振る舞い、あり方で印象に残っているもの

- なぜ印象に残っているのか

- ex.他の方の顔が見えないことでの発見、それぞれのメンバーに対してのイメージなど

\*自分が大切にできたこと

\*WS時間内でもやもしたことや違和感について

- 今回のWSに参加して、余計にわからなくなったこと